

# 和歌山だよいい

平成25年  
(2013) 9月号



鷺ヶ峯コスモスパーク (有田川町)

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P13
3. お知らせ…………… P14
4. ふるさと歳時記…………… P15～P16

観光情報が盛りだく  
さんです。  
和歌山に是非お越し  
ください。



## 和歌山県行政報告会

数年前から各地で和歌山県行政報告会という県行政の説明会を行っています。和歌山も広いので、30市町村各1回、和歌山市のように大きな市ではいくつかに分けるので大体40箇所で開催したということになります。したがって、週1回くらいやれば、各地域で大体1年に1回は開催できることとなります。日程は土日か平日の夜で、誰でも参加していただけるようにと配慮しまして、時間はあまりダラダラしゃべると皆さん疲れるので、1時間半と限っています。住民の皆さんにお声をかけていただいて、出席者を募るのに、市町村の当局や自治会の幹部の皆さんに大変お世話になっています。

よくあちこちで国政報告会とか県政報告会とかの会合があり、主として議員さんが日頃の活動ぶりを支持者の方々に報告されていますが、和歌山県行政報告会は、そういう政治とか選挙とかからは一歩遠ざかって、純粹に和歌山県として行政上行っている施策を説明することになっています。

私はおしゃべりですから、あちこちで県行政のPRにつとめていますが、それでもお会いした人から、「めったに知事とは直接会えないし、お話しできないからね。」という声をよく聞きます。

そこで、私が各地に出かけて行って、ご希望の方は誰でも参加していただいて、自分で直接その時々々の県行政の重要テーマをお話しさせていただくことにしました。県民の方々はよく聞いてくださるので、私も話し甲斐があると思って張り切っています。また、そこで住民の方々から出されたご意見などは、聞きっ放しではなく、丁寧にフォローすることになっています。

前回の自分の選挙の間近では、選挙運動と混同されるとフェアではないと思って、しばらく自粛しましたし、一昨年から度重なる大災害でなかなか開催の段取りができず、間遠になった地域もありますが、できるだけ精励して1年に1回は各地を回りたいと思っています。聞いてくださる皆さんの熱心な眼が楽しみです。



8/28 定例記者会見にて

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

### ●プレ和歌山デスティネーションキャンペーンを実施します！

・来年、平成26年の世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録10周年を契機に和歌山デスティネーションキャンペーン(わかやまDC)をJRグループ6社と連携して実施することに先駆け、今年9月14日から12月13日までの3ヶ月間、プレキャンペーンを実施します。



○プレキャンペーンの概要

(1) キャンペーン特別企画(わかやまDC推進協議会主催イベント)

#### ①1万人のウォーク&トレッキングの実施

期間中、地域団体主催も含め、県内各地でウォーク&トレッキングイベントを集中的に実施

#### ②世界遺産「高野・熊野夢舞台」コンサート～天空の聖地高野山より～の実施

世界遺産「高野山」が有する幽玄・静謐な景観を舞台に野外コンサートを開催し、コンサート内容を含め全国に高野山の魅力を発信

〔日 時〕 平成25年9月15日(日) 17:30～19:30

〔場 所〕 高野山壇上伽藍 金堂北側・特設会場

〔内 容〕 押尾コータロー アコースティックライブ

〔備 考〕 岡本玲さんのナビゲートによる高野山の紹介番組を制作し、都市圏のテレビ局で放映



#### ③「熊野に三度(仮称)」イベントの実施

世界遺産「熊野三山」が有する幽玄・雄大な景観を舞台に、コンサート・舞台公演等を実施

○熊野那智大社

〔日 時〕 平成25年10月12日(土) 午後～

〔場 所〕 熊野那智大社境内

〔出演者〕 西 陽子氏【箏曲家】



○熊野本宮大社

〔場 所〕 熊野本宮大社境内

〔日時・出演者〕 調整中



○熊野速玉大社

〔日 時〕 平成25年11月17日(日) 午後～

〔場 所〕 熊野速玉大社境内

〔出演者〕 和泉元彌氏【狂言師】



#### ④「竹中平蔵 熊野を語る(仮称)」講演会の実施

本県出身の竹中平蔵氏による熊野に関する講演会を実施

〔日 時〕 平成25年10月12日(土) 19:00～

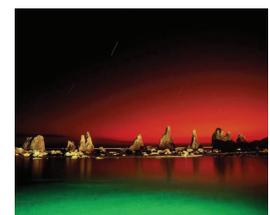
〔場 所〕 新宮市職業訓練センター

〔出演者〕 竹中平蔵氏【慶應義塾大学教授】

#### ⑤秘宝等の特別公開や国指定名勝等特別ライトアップ

〔内容・時期〕

- ・徳川霊台内部特別公開(高野町) 10月12日～10月20日
- ・金剛峯寺「奥殿」特別公開(高野町) 12月 7日～12月15日
- ・丹生都比売神社本殿特別拝観(かつらぎ町) 9月14日～12月13日(土・日・祝のみ)
- ・道成寺本堂特別公開(日高川町) 10月 1日～11月30日
- ・「那智田楽」特別展 in 紀伊風土記の丘(和歌山市) 9月28日～12月1日
- ・橋杭岩ライトアップ(串本町) 11月1日～11月3日、12月20日～12月22日



(2) 地域主催イベントの実施

期間中、県内各地で様々なイベント等を実施(以下は一例、詳細は4ページ下のURLから)

〔内容・時期〕

- |                           |                  |
|---------------------------|------------------|
| ・四季百景わかやま市(和歌山市観光協会)      | 9月～12月           |
| ・お速夜ナイトウォーク(高野町観光事業推進委員会) | 毎月20日            |
| ・ちょっと一息阿字観体験(高野山総本山金剛峯寺)  | 11月17日までの毎日      |
| ・紀州湯浅の鯖っと鰯まつり(湯浅町)        | 10月27日           |
| ・熊野古道フォトウォーク(熊野本宮観光協会)    | 10月12日、10月13日    |
| ・熊野本宮大社特別早朝拝観(熊野本宮観光協会)   | 9月～11月の毎月10日、20日 |
| ・あげいん熊野詣(那智勝浦町観光協会)       | 10月27日           |
| ・天と地の星(串本町観光協会)           | 10月19日、11月16日    |

(3) 新たな観光素材

産業とのコラボレーション企画の実施

地場産業の工場等見学・体験可能な施設をPR

〔時期〕 通年

〔内容〕 工場や施設内の見学・体験



- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ・うるわし館(紀州漆器協同組合：海南市) 蒔絵体験       | <a href="tel:073-482-0322">073-482-0322</a> |
| ・中野BC(株)(海南市) 日本庭園・酒蔵見学         | <a href="tel:0120-050-609">0120-050-609</a> |
| ・高野口パイル織物資料館(橋本市) パイル織物の歴史・製品見学 | <a href="tel:0736-42-3113">0736-42-3113</a> |
| ・紀州梅干館(みなべ町) 梅干し、梅ジュース作り体験      | <a href="tel:0739-72-2151">0739-72-2151</a> |
| ・梅回廊(中田食品(株)：田辺市) 梅干し工場見学       | <a href="tel:0739-22-2858">0739-22-2858</a> |

※ご予約・ご案内は、お電話で

(4) おもてなしの充実

①おもてなし県民運動の実施

県民の皆さんに、「笑顔で挨拶します」「積極的に声をかけて旅のお手伝いをします」などの「おもてなし」を宣言していただき、県民一人ひとりが観光客をおもてなしの心で迎える気運を醸成

〔時期〕 平成25年8月28日(水)～

〔内容〕

- ・「おもてなし宣言」登録者に登録証等を配布
- ・「おもてなし」実践内容の情報発信(メディア、新聞、ウェブサイト等)やスキルアップのための研修会開催
- ・県民向けテレビ番組『あっと！テレわか』で「おもてなし」の事例紹介と登録者の募集(8月30日(金)から10回放送予定)

②観光PRキャラバン隊&ウェルカムサポーターの活動

観光PRと、県内各地での「おもてなし活動」を実施

〔時期〕 平成25年7月～平成26年3月末

〔内容〕

着ぐるみの「わかばん」や平安装束などの姿で「ウェルカムサポーター」が県内主要観光地でお客様をお出迎え。お客様には積極的にお声がけし、写真撮影のお手伝いや周辺観光地のパンフレット配布など旅のお手伝い。

③手ぶら観光の実施

公共交通でお越しのお客様が観光地をめぐる際、手荷物を駅構内等の観光案内所などで預かり、その日宿泊される宿泊施設等にお届けする「手ぶら観光」を実施

〔時期〕 平成25年9月14日(土)～

〔場所等〕 JR紀伊田辺駅隣接(田辺市観光センター) JR白浜駅隣接 (明光旅行社)  
JR新宮駅構内 (新宮市観光協会) JR串本駅構内 (串本町観光協会)

④和わかやま宿泊得々キャンペーンの実施

県内の宿泊施設に宿泊された観光客を対象に抽選でキャッシュバックやプレミア和歌山認定商品をプレゼントするキャンペーンを実施

〔時期〕 平成25年9月14日(土)～平成26年3月31日(月)

〔内容〕 現金3万円が毎月10名に当たる  
プレミア和歌山認定商品(2,000円相当)が毎月50名に当たる

(5) 宣伝・情報発信

①プレわかやまDCオープニングイベントの開催～大阪ステーションシティ×和歌山～

県内各地の観光素材のPRや様々なステージイベント等により本県の魅力を発信し、京阪神エリアからの誘客を促進

〔日時〕 平成25年9月14日(土)～9月16日(月) 11:30～17:00

〔場所〕 大阪ステーションシティ5階「時空の広場」ほか

〔内容〕 ステージイベント：わかやまパンダ大使 岡本玲さんトークショー等  
体験コーナー(写経、密教の法具を使った「密教の音色」体験)等

②5連貼りポスターによるPR

JRグループとタイアップし、全国JR主要駅において本県の魅力を発信する観光PRポスターを掲出し認知度向上と誘客を図る

〔時期〕 平成25年11月(1ヶ月間)

〔場所〕 全国JR主要駅1,100箇所、主要観光施設等

〔内容〕 B1サイズ 5種類作成



③わかやまDC 特設サイトの設置

プレわかやまDC、わかやまDC期間中に実施するイベントや「おもてなし」企画について紹介する専用サイトを設置

県観光情報サイトや地域団体等のウェブサイトにもリンクし広く情報発信

〔時期〕 平成25年9月上旬 公開予定

④各種メディアなどによる情報発信

プレわかやまDCを各種メディアなどにより積極的に情報発信

〔内容・時期等〕

- ・西Navi 9、10、11月号(JR西日本発行) 40万部 各月下旬発行
- ・ジパング倶楽部(交通新聞社発行) 138万部 9月下旬発行
- ・紀州浪漫・秋号(和歌山県観光情報誌) 10万部 9月上旬発行

・このほか、おトクなきっぷの発売などもあります。

キャンペーンの詳細については、こちらをご覧ください。

[http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/press/250821/250821\\_1.pdf](http://www.pref.wakayama.lg.jp/chiji/press/250821/250821_1.pdf)

●アジア最大級の国際食品見本市「香港 FOOD EXPO 2013」へ出展しました

・先月号でお知らせしたとおり、7月5日、県と香港貿易発展局は、和歌山県と香港との貿易・経済協力促進を目的としてMOU(覚書)を締結しました。

・この覚書に基づき、和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会では、8月15日から17日までの3日間、中国・香港で開催されたアジア最大級の国際食品見本市「香港 FOOD EXPO 2013」に初めて単独出展し、県内企業4社が安全安心で健康的な和歌山県ならではの製品を出展しました。



・展示会への来場者数は5日間で計41万人、出展企業は1,145社となり、大変な賑わいとなりました。

○出展企業

企業名	所在地	主な出展製品
(有)深見梅店	上富田町	梅干し等
(株)伊藤農園	有田市	100%柑橘ジュース、マーマレード等
中野BC(株)	海南市	梅酒、日本酒
和歌山県農業協同組合連合会	海南市	100%みかんジュース、あんぽ柿

●先駆的産業技術研究開発支援事業の採択事業決定

・「先駆的産業技術研究開発支援事業」については、全国あるいは海外において、今後高いニーズが見込まれる先駆的産業分野で、県内企業等が有する技術シーズを活用しながら取り組む研究開発に対して支援しており、この度、以下の7件の採択を決定しました。

・県は、今後採択案件の事業化を支援していくとともに様々なツールを活用し、県内にある「先駆的」技術シーズの更なる発掘・育成を図り県産業の高度化に努めていきます。

事業所名	所在地	採択事業	分野
(株)小松原	和歌山市	幅広マイクロ波加熱装置	ロボット・組立
紀州技研工業(株)	和歌山市	気相法による金属ナノ粒子抽出技術及び、安定分散技術の開発	化学
NKアグリ(株)	和歌山市	植物工場における施肥制御による葉菜類に含まれるポリフェノール含有量の増加技術の開発	バイオ・食品
(株)ジャバララボラトリー	和歌山市	シツルスジャバラ果皮を原料とする化粧用保湿剤の開発と医薬部外品外用剤の開発	バイオ・食品
築野食品工業(株)	かつらぎ町	ミオイノシトールの新機能に関する研究	バイオ・食品
(株)石橋	印南町	森林資源を活用したセルロースファイバー生産技術の開発	エネルギー・環境
カーボンフリープロダクト(株)	御坊市	固体バイオマス燃料の下向き燃焼技術を利用した高効率な小型貫流蒸気ボイラの研究開発	エネルギー・環境

●いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズが

KIRIN「選ぼう ニッポンのうまい！2013」プレゼント賞品に採用

・キリンビール株式会社が実施する「選ぼう ニッポンのうまい！2013」のプレゼント賞品に、いこいの村わかやまの「イブの恵み」シリーズが「プレミアム和歌山 ハムソーセージ詰合せ」として採用され、8月28日、和歌山市において発表会と試食会が開催されました。



・このキャンペーンは「食」を通じてニッポンの元気を応援することを目的に、

2005年から展開されており、47都道府県のうまいもの一品が抽選で計30,000人にプレゼントされます。

・いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズは、平成24年度にプレミアム和歌山推奨品に認定され、なかでも、「イブの恵み モモハム」は、推奨品の中から特に優れた産品に与えられる「審査委員特別賞」を受賞しています。

・発表会には株式会社いこいの村わかやま 坂本 信也 代表取締役やすさみ町 岩田 勉 町長とともに仁坂知事も出席し、「和歌山には美味しいものがたくさんある。このような形で全国に向けてPRしていただいたら、大変ありがたい。」と挨拶するとともに、すさみ町の“うまいもの”をPRしました。

・このようなキャンペーン賞品への採用は、全国的な知名度アップが図られ、販路の拡大等に繋がることが期待されています。

○いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズ

すさみ町の特産品であるF1イノブタ(一代交雑種)にこだわり、自社で飼育生産したイノブタ肉「イブの恵み」を使用。

エサの配合による品質管理、飼育法による衛生管理にこだわった「イブの恵み」の肉質は、あっさり感で臭みがなく、保水性が良く肉汁の漏出が少ない。

特に脂身は甘くコクがあり、口に入れるととろけるような食感がある。



プレミアム和歌山 審査委員特別賞受賞

「イブの恵み モモハム」

・いこいの村わかやま「イブの恵み」シリーズは、株式会社いこいの村わかやまのHPから購入することができます。<http://www.rakuten.ne.jp/gold/evfarm/>

●2013年モンド・セレクション受賞事業者が受賞報告

・食品の国際品評会「モンド・セレクション」を受賞した県内事業者の方々が、8月19日、受賞報告のため仁坂知事を訪問しました。今回、受賞が確認できた企業は20社で、県特産品である梅干や醤油、菓子、水など30品が世界的に高い評価を受けました。なかでも、田端酒造株式会社の「羅生門 龍寿」は25年連続での最高金賞受賞と、世界最高記録を更新しました。

・仁坂知事は、「皆さん受賞、おめでとうございます。毎年、皆様とお会い出来ること

を楽しみにしています。」とお祝いの言葉を述べ、受賞者の田端酒造 長谷川 社長は、「25年連続受賞を機に初心に戻ってがんばります。」と今後の意気込みを話しました。



○モンドセレクション受賞者20社30品(県把握分)

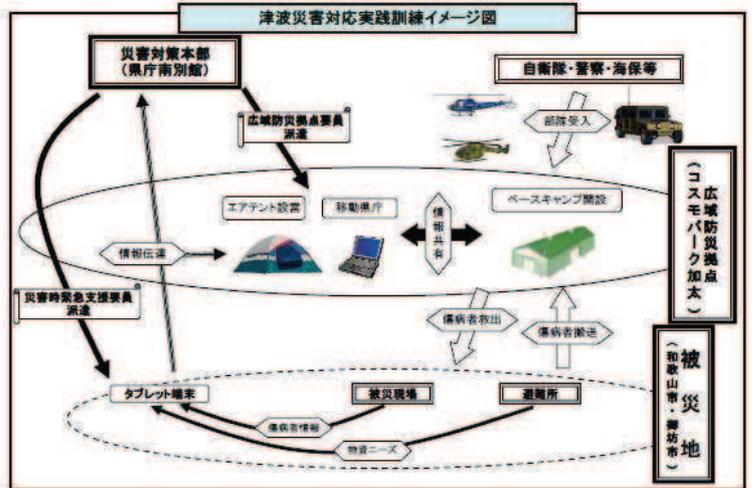
事業者名	受賞商品	受賞内容
(株)アセロラフーズ <田辺市>	アセロラ黒酢	最高金賞【4年連続】
	グルコサミン アセロラ黒酢	金賞【4年連続】
(株)伊藤農園 <有田市>	きよみしぼり	最高金賞【初受賞】
	みかんしぼり	金賞【5年連続】
(有)雲水 <日高川町>	釣鐘まんじゅう	金賞【7年連続】
(株)角濱ごまどうふ総本舗 <高野町>	ごま豆腐	金賞【7年連続】
川口水産(株) <有田市>	きざみうなぎの蒲焼き	金賞【4年連続】
	川口水産のうなぎ蒲焼き	金賞【2年連続】
(株)紅梅園 <田辺市>	デザート 梅の夢	最高金賞【6年連続】
(株)岡畑農園 <田辺市>	かみはやさんの梅酒	金賞【新規】
サカイキャニング(株) <橋本市>	霊峰高野山 大師の水 500ml	最高金賞【5年連続】
	霊峰高野山 大師の水 2L	最高金賞【6年連続】
田端酒造(株) <和歌山市>	羅生門 龍寿(日本酒)	最高金賞【25年連続】 ※世界最高記録
中野 BC(株) <海南市>	大吟醸「紀伊国屋文左衛門」(黒)	最高金賞【2年連続】
	紀州梅酒「紅南高」	金賞【新規】
(株)南紀白浜 富田の水 <白浜町>	南紀白浜 富田の水 1.3L	最高金賞【12年連続】
E H製菓(株) <田辺市>	黄金の哲学(カステラ)	金賞【4年連続】
(有)深見梅店 <上富田町>	フルーツ梅	銀賞【5年連続】
(名)丸正酢醸造元 <那智勝浦町>	那智黒米酢	最高金賞【7年連続】
丸新本家(株) <湯浅町>	丸新ゆずぼん酢	金賞【6年連続】
	九曜むらさき	最高金賞【8年連続】
(有)港屋 <白浜町>	柚もなか	銀賞【4年連続】
(有)紅葉屋本舗 <串本町>	本練羊羹 竹皮包み	金賞【6年連続】
	柚子羊羹 竹皮包み	金賞【7年連続】
(株)木の国 <湯浅町>	じゃばら酢	金賞【新規】
湯浅醤油(有) <湯浅町>	生一本黒豆醤油	最高金賞【8年連続】
(株)山本進重郎商店 <和歌山市>	美人湧泉ROYAL 500ml	金賞【2年連続】
	美人湧泉ROYAL 2L	金賞【2年連続】
	美人湧泉 500ml	金賞【2年連続】
	美人湧泉 2L	金賞【2年連続】

●実践的な防災訓練を実施します

・昨年見直した訓練の更なる充実を図り、訓練規模の拡大、機器習熟訓練の充実、住民避難訓練・避難所運営訓練など、より実践的な訓練を実施します。

津波災害対応実践訓練(11月30日)

- 県災害対策本部を県庁南別館に設置し、広域防災拠点の1つであるコスモパーク加太、被災地として和歌山市・御坊市を設定し、4ヶ所同時並行で訓練を実施
- 広域防災拠点要員(県職員から選任)に「個々の任務」「他機関との連携」等を理解させ、災害対応力の強化を図る
- 様々な実践的訓練(災害対策本部会議訓練・現地活動拠点設置訓練・情報伝達訓練・実働部隊訓練・住民参加の訓練)を行い関係機関等との連携強化を図る



通信訓練(1月頃)

- 孤立集落を想定し、防災行政無線等を用いて市町村と孤立集落の間で通信訓練を実施
- 市町村と県との防災電話を用いた通信訓練を実施

津波避難訓練(統一日7月28日)

- 4県(和歌山・三重・徳島・高知)統一日に沿岸市町において住民による津波避難訓練を実施
- 県と各市町の間で情報伝達訓練を実施

物資訓練(2月7日)

- 県庁南別館の災害対策本部からの指示により、広域防災拠点(橋本市運動公園及び県立橋本体育館)において、物資提供者(協定企業等等)と連携し、救援物資の要請、受入れ、仕分け、払出しの一連の手順を確認
- 情報収集タブレット端末等を活用し、県庁・広域防災拠点・被災地(市町村、避難所)の間で被災状況・物資ニーズ等の情報を共有し、物資提供者との間で必要物資の照合を図る

図上訓練(1月11日)

- 東海・東南海・南海3連動地震を想定し、初動対応の向上のための図上訓練を実施
- 第1フェーズは、発災直後の災害対策室の立ち上げ等初期対応訓練
- 第2フェーズは、防災関係機関との連携強化に主眼を置き、発災3時間後から3日後までの情報収集・災害対応・活動調整の訓練

●南海トラフ地震を想定した訓練が行われました

・「防災の日」の9月1日、政府が実施した総合防災訓練としての政府本部運営訓練に、県からは仁坂知事が、大規模災害でも途切れない国の中央防災無線を使って参加しました。

・訓練は、午前6時過ぎに静岡県沖から日向灘を震源とした南海トラフの巨大地震が発生、県内でも南部を中心に震度7を観測し、沿岸部は大津波に襲われたという想定で、政府に対し、県内の被災状況を報告するとともに、人命救助のためのヘリコプターの派遣等の支援要請をしました。



・訓練終了後、仁坂知事は、「南海トラフ地震は、約90年から約150年周期で必ずやってくる地震、今そこにある危機である。県民の命を守る対策を進めていく。」と大地震に対する備えについて話しました。

●政府と共同で広域医療搬送訓練を実施しました

・大規模災害発生時、県内では重傷を含む多数の負傷者が発生するほか、医療施設の機能低下により十分な医療が確保できないことが予想されるため、県外からの災害派遣医療チーム(DMAT)を受け入れ、患者を県外の医療施設に広域搬送することが求められます。

※DMAT…医師、看護師、業務調整員計5名で構成

・県では、そういった事態が発生した場合、広域医療搬送拠点(SCU)である南紀白浜空港から患者を広域搬送することとしており、同空港でのDMATの受入れと患者搬送体制の検証のため、8月31日南海トラフ大地震が発生したとの想定で訓練を実施しました。1府8県から参集したDMAT30チームを県内の医療施設に派遣し、医療関係者約1,000人参加のもと、実践さながらの連携訓練が繰り広げられました。

※SCU…災害時、患者を広域搬送する際の臨時医療施設

和歌山県災害医療本部(DMAT調整本部)運営訓練(県庁南別館)

○医療機関の被災・診療可否情報の収集、DMATの派遣要請など受入調整を実施

南紀白浜空港SCU開設訓練

○広域防災拠点要員により南紀白浜空港にSCUを開設

南紀白浜空港SCU等拠点運営訓練

○県外DMAT(陸路13チーム)を紀ノ川サービスエリアで受入れ

○ 〃 (空路17チーム)を南紀白浜空港SCUで受入れ

○ 〃 を県内災害拠点病院等13施設に派遣

○広域医療搬送患者を南紀白浜空港SCUで受入れ、医療処置を実施

○自衛隊固定翼機(C-1)等で患者を広域搬送

病院内(DMAT受入れ・患者搬送)訓練

○県内災害拠点病院等13施設で県外DMATの支援を受け、患者の診療及び搬送を実施

広域災害救急医療情報システム(EMIS)運用訓練

○県内全86病院及び人工透析機関でEMISにより各自被災状況等を伝達



●関西広域連合委員会が初めて和歌山で開催されました

・第36回関西広域連合委員会が、8月29日の午前中に和歌山市のホテルアバローム紀の国で、同日午後からは、関西広域連合議会8月定例会が県議会議場でそれぞれ開催されました。なお、関西広域連合委員会・連合議会定例会が県内で開催されるのは初めてのことです。



・構成各府県知事・市長により構成される関西

広域連合委員会においては、中高年の国際スポーツ競技会「ワールドマスターズゲームズ2021年大会」の関西への招致について議論が交わされ、関西広域連合として同大会の関西招致を目指すことを決定しました。今後、関西広域連合議会等の理解を得ながら、具体的な協議と手続きを進めていくこととなります。

・また、委員会の開催に先立ち、自然災害等発生時にゴルフ場施設における被災者への支援協力を得るため、関西ゴルフ連盟及び徳島県ゴルフ協会と関西広域連合との間で、「危機発生時の支援協力に関する協定」を締結することとなり、調印式が行われました。

・今後、危機発生時には本協定に基づき、被災者のクラブハウスへの収容、飲料水・食事場所の提供、浴場の提供、臨時ヘリポートの設置、緊急車両の駐車などの支援をいただけることとなります。

### ●中部抵抗器株式会社が「北勢田第2工業団地」に新工場を竣工

・この度、中部抵抗器株式会社(本社：愛知県稲沢市)が「北勢田第2工業団地」(紀の川市)に新工場を建設し、8月2日に竣工式が行われ、仁坂知事は、用地造成完了前に進出を決定していただいた中部抵抗器株式会社へのお礼の言葉を述べました。

・中部抵抗器株式会社は、空調機に使用する熱交換器やエレベーターのボックス関連製品などを製造しており、昭和14年の創業以来、三菱電機株式会社と緊密な関係を保ちながら製品の共同開発などを行っており、高度な技術を有する企業です。

・今回、熱交換器製造拠点の分散化と取引先の近くで生産することによるコスト削減のため、紀の川市において新工場を建設する運びとなりました。新設の和歌山工場では、業務用空調機の熱交換器が製造されています。



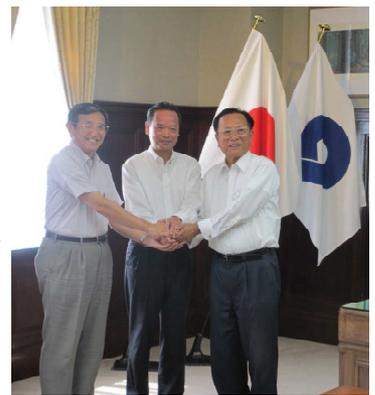
### ●中辻産業株式会社が紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出

・この度、中辻産業株式会社(本社：大阪府堺市)が橋本市の紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出することが決定し、8月30日に協定を締結しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は118件となりました。

・調印式において、仁坂知事は、工場進出に対する感謝の意と本県の経済発展に寄与していただくことへの期待を述べました。

・中辻産業株式会社は、昭和27年設立で、冷間・温間鍛造による自動車部品・建築金物部品等の製造と再生資源リサイクル業の2つの事業を行っており、今回進出するのは鍛造品製造事業の工場です。同社の鍛造品は、量産体制を確立しながら高精度の製品提供を実現し、大手自動車部品メーカーなどから高い評価を得ています。

・今回、鍛造品製造事業のメイン部品である自動車部品が国内外ともに需要が増え、それに伴う生産能力を増強するため、橋本市に新工場を建設することとなりました。橋本工場の操業は平成27年4月を予定しており、県内新規地元雇用者13名が見込まれています。



### ●県内初のマッシュルーム栽培施設竣工

・この度、株式会社恋野マッシュルームが橋本市内に県内初のマッシュルーム栽培施設を建設し、8月19日、竣工式が行われました。

・竣工式において、仁坂知事は、「20人以上の雇用が期待されるマッシュルーム施設ができたことは本当に素晴らしいことで、関係者の皆様方に心から感謝します。」と祝辞を述べました。一方、芋生 孝治 社長は、「消費者に愛される恋野のマッシュルームにしていきたい。」と抱負を述べました。

・株式会社恋野マッシュルームは、地域農業の振興を図るため新たに立ち上げられた農業法人で、業界大手の有限会社舟形マッシュルーム(本社：山形県舟形町)から栽培技術支援を受け、年間約300トンの生産、約1億6千万円の売上げを目指しています。



●『第45回紀州おどり「ぶんだら節」』

『おどるんや～第10回紀州よさこい祭～』今年も盛大に開催！！

・8月3日、紀州おどり「ぶんだら節」と「おどるんや～紀州よさこい祭～」が同日開催されました。

・紀州おどり「ぶんだら節」には、今年も仁坂知事を先頭に県職員で組織する県庁連が参加し、「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」のイメージキャラクターきいちゃんも大いにPRしました。



・「おどるんや～紀州よさこい祭り～」には、3日間の開催で、県内外から過去最高となる101チーム約4,000人が参加。和歌山城砂の丸広場のほか市内7会場で、鳴子を手に熱い踊りが繰り広げられ、おどるんや大賞は「紀州龍神」が、金賞(県知事賞)は「和歌山MOVE」が、それぞれ受賞しました。

・同日開催も、今年で5年目となり、多くの見物客が和歌山市の夏を彩る新旧の風物詩を堪能しました。

●野菜フェスタ in WaKaYaMa 2013が開催されました

・農家や栄養士の皆さん等で結成する「野菜でげんき・和歌山」応援隊は、「野菜を通じて食の安全と健康を考える」をメインテーマに、8月25日、和歌山市のフォルテワジマで「野菜フェスタ in WaKaYaMa 2013」を開催しました。



・このフェスタは、野菜を医学・文化・教育・生産面等の多角的視野から捉え、「野菜の持つ潜在力」を広く普及・啓発するため平成23年度から開催されています。

・フェスタでは、同応援隊代表世話人 南條 輝志男 先生(わかやま労災病院長)が、「野菜でげんき・和歌山」と題した基調講演を行ったほか、料理研究家 藤野 真紀子 さん、ロンドンオリンピックアーチェリー銀メダリスト 古川 高晴 さんらの講演、野菜に関するクイズラリーなどが行われ、家族連れなど約4,000人で賑わいました。

●巨峰村がオープンしました！

・ブドウ狩りがシーズンを迎え、近畿有数の観光ブドウ園である有田川町の「有田巨峰村」において、8月18日、オープニングセレモニーが行われました。



・セレモニーでは、仁坂知事が、「今年は水不足が心配されたが、なんとか大丈夫でした。来年には、かんがい施設ができ上がりますので、大いに活用してください。」と挨拶、有田落葉果樹生産組合の 森 悦二 組合長は、「暑い日が続いていますが、ブドウには良い天気で、非常においしく仕上がっています。」と述べました。

・「有田巨峰村」は、昭和57年に観光農園としてスタート。現在は28戸の農家が約18ヘクタールの畑でブドウを栽培しています。開園は午前8時から午後6時まで9月下旬までブドウ狩りを楽しむことができ、毎年約2万人の観光客が来園します。皆様も秋の味覚狩りにお越しください。(ご予約・ご案内は、0737-32-4484まで)

●ナショナル・バスケットボール・リーグ、いよいよ開幕！

・男子バスケットボールの新しいトップリーグ「ナショナル・バスケットボール・リーグ(NBL)」の開幕を1か月後に控え、和歌山市を本拠地とする和歌山トライアonzの皆さんが、8月28日、仁坂知事を訪問しました。



・トライアonzは、永山 誠 主将のほか、昨季で休部となったパナソニックからの移籍選手、元日本代表で得点王を獲得したこともある 川村卓也 選手、bjリーグで活躍したマイケル・パーカー 選手など実績のある選手が揃った強豪チームです。

・仁坂知事は、「10月5日の和歌山での開幕戦には必ず応援に行きます。」と挨拶し、トライアonzの古川社長らは、「県の応援があればチームは必ず成功する。地域活性化に貢献し、トライアonzを県のシンボルにしたい。」と意気込みを語りました。

・和歌山トライアonzは9月28日、熊本市で開幕戦を迎え、10月5日に和歌山ビッグホールでホーム開幕戦に臨みます。皆様も応援よろしくお願ひします。

・和歌山トライアonzの公式サイトはこちらから。http://www.trians.jp/

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度に係る感謝状贈呈

・この度、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度における協賛企業が以下のとおり新たに8者決定し、8月19日と8月30日に感謝状を贈呈しました。

・仁坂知事は協賛いただいた各企業・団体に、「協賛金や物品等は両大会の開催に当たって十分に活用させていただきます。」とお礼を述べました。

区分	企業・団体名	提供内容	出席者
オフィシャルスポンサー	株式会社はまだ	協賛金500万円	濱田 ひとみ 専務取締役
	株式会社浅川組	協賛金500万円	池内 茂雄 取締役会長
オフィシャルスプ ライヤー	東和冷機株式会社	冷蔵庫	中谷 晃也 代表取締役
	株式会社山本進重郎商店	飲料水	山本 進三 代表取締役
	和歌山県遊技業協同組合	花いっぱい運動用プランター	西山 寿一 理事長
	社会福祉法人和遊協社会福祉事業協力会	障害者スポーツ競技用具	西山 寿一 理事長
	公益社団法人和歌山県バス協会	啓発ステッカー等の作成及びバスへの貼付	井上 慎治 会長
	美津濃株式会社	スタッフブルゾン	河上 聖志 営業本部 イベント営業推進室次長



●わかやまスポーツフェスティバルが開催されました

・平成27年開催の「紀の国わかやま国体」まで777日前となった8月10日、和歌山市のビッグホエール・ビッグウエーブにおいて、応援イベント「わかやまスポーツフェスティバル」が、公益財団法人県スポーツ振興財団等の主催で開催されました。

・イベントに先駆け、開催777日前を記念して設置されたカウントダウンボードの除幕式も行われ、イメージキャラクターのきいちゃんも駆けつけました。

・イベントでは、新宮市出身で昭和46年「黒潮国体」に出場したウォーキングドクター デューク更家 さん出演のウォーキング体験レッスンが実施されました。子どもから高齢者まで約250人が参加し、時折ジョークを交える デューク更家 さんから、正しい姿勢や歩き方について楽しく指導を受けました。そのほか、「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」に関するブースや、様々な競技の体験ができるコーナーも設けられ、家族連れらで大変にぎわいました。

・「紀の国わかやま国体」開催まで、およそ750日。県としましても、より多くの皆さんに知っていただけるようPRに努めていきます。



●秋葉山公園県民水泳場がリニューアルオープンしました

・平成27年に開催される「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」に向け、老朽化していた秋葉山公園県民水泳場の建て替えを進めていましたが、この度、本体工事が竣工し、9月1日、オープニングセレモニーを開催しました。

・セレモニーにおいて、仁坂知事は、「和歌山県における水泳場の大本拠地をつくらうという工事がようやく完成した。来るべき平成27年の国体では、このプールで続々と和歌山県の選手が表彰台に立てるようがんばってもらいたい。」と挨拶し、今後の活用に期待を寄せました。

・この工事では、屋根に紀州材と鉄のハイブリッド材を用いるなど建物全体に紀州材をふんだんに使用し、秋葉山の緑とも調和した水泳場となり、通年利用できる屋内プールと夏季に利用できる屋外プールを併せ持った新しいプールとしてリニューアルしました。



●濱口梧陵シンポジウムを開催します！

濱口梧陵シンポジウム

～和歌山県が生んだ津波防災の先駆者～

1820年に紀伊国広村(現在の和歌山県広川町)に生まれた濱口梧陵は、1854年の旧暦11月5日、安政南海地震の激震による大津波から村人を守るため、稲むらに火を放ち、暗闇のなか高台への道を示し、多くの村人の命を救いました。この話は、「稲むらの火」として現代に語り継がれ、昨年6月に成立した津波対策推進法の中でもこの日が「津波防災の日」と定められています。

濱口梧陵の活躍は人命救助だけに留まらず、津波がおさまった後は応急対策として村人の食糧確保に奔走し、物資の輸送に必要な道路や橋の修復工事を実施するとともに、家を無くした村人のために住まいを確保するなどしました。

また、将来にわたって何度も繰り返し押し寄せるであろう津波への対策として、大堤防を建設し、1946年に発生した南海道大地震では広村堤防はその役割を果たし、多くの住民を守りました。

平成23年3月の東日本大震災において、我が国は津波により甚大な被害を受け、改めて津波への備えの重要性が認識されています。このような中、濱口梧陵の業績をたたえ顕彰するとともに、津波防災を啓発するため、東京においてシンポジウムを開催します。

日時：平成25年10月26日(土) 13:30～16:30

場所：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン3階 アカデミーホール  
(住所：東京都千代田区神田駿河台1-1)

出演者：河田 恵昭 関西大学社会安全学部社会安全研究センター長・教授  
人と防災未来センター長

石丸謙二郎 俳優

大下 英治 作家

中林 一樹 明治大学特任教授、日本災害復興学会会長

仁坂 吉伸 和歌山県知事

次第：河田恵昭氏による基調講演  
パネルディスカッション

受付開始：9月5日(水) 10:30から

申込先：明治大学リバティアカデミー事務局

<https://academy.meiji.jp>

電話 03-3296-4423

申込方法：電話またはホームページから申し込みください

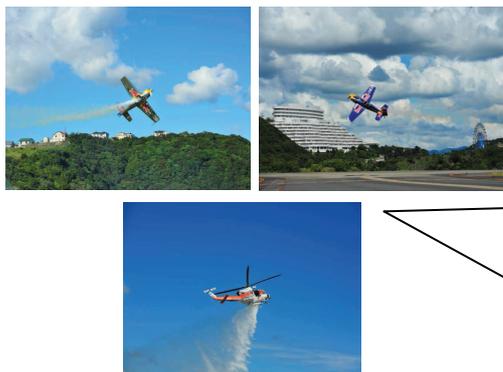
(事前予約制、全席自由、先着500名)



イベント情報(9月11日～10月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
9/13～ 9/15	高芝の獅子舞	那智勝浦町下里	那智勝浦町観光産業課 0735-52-0555
9/14	空の日フェスタ2013	白浜町・南紀白浜空港	南紀白浜空港管理事務所 0739-42-2348
9/14～ 9/15	紀の国やっちゃん祭り	橋本市	紀の国やっちゃん祭り実行委員会 FAX 0736-39-2001
9/14～ 9/15	南紀白浜フラフェスティバル	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
9/15	三輪崎八幡神社例大祭 (鯨踊り)	新宮市・三輪崎八幡神社	新宮市観光協会 0735-22-2840
9/15	勝浦八幡神社大祭	那智勝浦町・勝浦八幡神社	那智勝浦町観光産業課 0735-52-0555
9/15	粉河とうろう祭	粉河町・とんまか通り	粉河とうろう祭実行委員会 0736-74-3000
9/15	あらぎ島稲刈り体験	有田川町・あらぎ島	ふれあいの丘スポーツパーク 0737-25-1288
9/20	心の癒し・ お逮夜ナイトウォーク	高野町・奥之院	高野山観光協会 0736-56-2616
9/26	日前神宮 國懸神宮例大祭	和歌山市・ 日前神宮 國懸神宮	日前神宮 國懸神宮 073-471-3730
10/1～ 10/2	印南祭	印南町・印南漁港ほか	印南町観光協会 0738-42-1737
10/4～ 10/5	御坊祭	御坊市・小竹八幡神社	小竹八幡神社 0738-22-0089
10/4～ 10/5	弁慶まつり	田辺市・鬮鷄神社ほか	弁慶まつり実行委員会 0739-22-5064
10/10	みかん祭り	海南市・橋本神社	橋本神社 073-494-0083

空の日フェスタ



9月20日は「空の日」です。「空の日」とは、我が国の航空活動が、明治43年に東京代々木練兵場において、徳川・日野両大尉がアンリ・フェルマン機を使用して初飛行に成功したことに始まります。それから30年目にあたる昭和15年に、航空思想の普及を図るため、「空の日」とすることが定められました。南紀白浜空港においても平成4年から、広く県民の方々に航空に対する理解と関心を深めていただくため、毎年イベントを実施しています。

自然・風物情報(9月中旬～10月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
9月中旬	イセエビ漁解禁	串本町・下田原漁港	和歌山東漁協下田原支所 0735-74-0131
9月中旬	スイフヨウ開花	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029
9月中旬	彼岸花が開花	県内各所	
9月中旬	くり拾い	かつらぎ町内観光農園	かつらぎ町産業観光課 0736-22-0300
9月中旬	極わせ温州みかん 出荷始まる	有田市	J Aありだ 0737-53-2311
		田辺市	J A紀 南 0739-23-3513
9月下旬	ハギ見ごろ	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
		本宮町湯峰	旅館あづまや 0735-42-0012
9月下旬	一面秋色のススキ	紀美野町、有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-5901
9月下旬	キイジョウロウホトトギス 見ごろ	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
		すさみ町・佐本西野川	すさみ町キイジョウロウホトトギス 生産組合 0739-57-0453
10月上旬	コスモス見ごろ	有田川町・ 鷲ヶ峰コスモスパーク	有田川町産業課 0737-32-3111
		上富田町・ 市ノ瀬小山河川敷	上富田町教育委員会 0739-47-5930
10月上旬	「落ちアユ」漁解禁	県内各河川	和歌山県内水面漁協 連合会 073-423-7853
10月上旬	クエフェア	日高町・ 比井崎漁業協同組合市場	日高町産業建設課 0737-32-3111



高級食材として知られているイセエビ。和歌山県でも多く水揚げされており、千葉県・三重県とトップを争うほどの漁獲量があります。主な漁場は日高町～新宮市海域の沿岸にかけてで、田辺市～最南端・潮岬海域では漁獲量が少なめですが、サイズは非常に大きく、1kg 超えの大型のイセエビが獲れることも珍しくありません！一方、串本町～新宮市海域ではサイズはやや小型ですが、たくさん漁獲されます。

～編集後記～

台風12号に伴う記録的な大水害から、はや2年が過ぎようとしています。  
改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

9月1日は「防災の日」の日です。県内各地において、防災訓練が実施されました。

私たちが子どもの頃は、防災といっても、関東大震災は遙か昔のことでしたし、昭和28年の大水害からも大分時間が経過していて、(とは言っても小学校の先生は28年水害で川が氾濫する様子やそれに伴う悲しい話を教えてくれましたが、)身近に大災害に襲われるという実感も少なかったように思います。

しかし、2年前の東日本大震災、そして紀伊半島大水害、さらには近い将来発生するとされる3連動地震など、いつ大規模な自然災害に見舞われるか、予想できない時代です。県としましては、県民の命だけは絶対を守るんだという気持ちで、災害対策に取り組むとともに、より実践的な訓練にも心掛けております。

さて、お知らせの欄でもご紹介しましたが、来月、東京で濱口梧陵シンポジウムを開催します。安政の南海地震の大津波の際に、稲むらに火を放って村人を守り、その後も私財を投じて堤防を築き昭和南海地震による津波から集落を守った功績はよく知られています。延長652mからなるこの広村堤防は、「稲むらの火」の逸話とともに防災施設のシンボルとして注目されています。

皆様には地元の偉人を顕彰していただきたいのはもちろんですが、津波防災について考える機会として、是非シンポジウムに御出席いただきたく思います。昨年の「陸奥宗光」、一昨年の「南方熊楠」シンポジウムとも大変ご好評をいただきましたので、お申し込みはお早めをお願いします。

8月の記録的な猛暑も終わりを告げ、朝晩めっきり過ごしやすくなり少し寂しさを感じるようになって参りました。しかし、秋は秋で「スポーツの秋」「食欲の秋」「芸術の秋」と、何をするにも絶好の季節です。県内でも初のプロバスケットボールチームが誕生し、これから大いに盛り上げて行きたいと思いますし、ラグビートップリーグの県内初開催など、私はスポーツの秋を楽しみにしていますが、皆さんそれぞれお好みの秋をたっぷり満喫してください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2013年(平成25年)9月 NO.65

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022